

## エンジンルームなどに爆白を残さないようにするための洗い方

弊社直営店に、下記のようなメールの問合せをいただきました。

先日クリスタルキーパーをかけていただきました。通勤で使用しているスイフトは何回も雨にあたりましたが、強撥水はすばらしく、会社の駐車場で雨ざらしになっても汚れがつきにくく非常に良いです。  
ところでひとつ問題ですが、エンジンルームの中に水の乾いた跡が残るのはわかりますが、洗剤なのか、石膏みたいに真っ白く、隙間という隙間に跡が残っているのが非常に不愉快です!手の入るところは何とか掃除しましたが、手が入らないところは真っ白です!いろんなところで洗車しましたがこんな石膏みたいに白く残ったことはありません。  
これは洗剤?のせいなのか、すすぎの水がたらないのか分かりません。解消を望みます。

右写真は爆白が残ったあとです。これが“石膏のように白く残っている”物の原因で、爆白後の洗浄が不十分だと、このようになります。また、若干でも濡れている時(引き渡しの際)は気が付きにくく、完全に乾くと白さが目立つのも特徴です。調べたところ、この車の作業は「手洗い洗車と爆白作業まで」は新人に作業させた車でした。爆白後の洗浄をしっかりと行うことを再度見直す必要があります。

キーパーラボ横浜港南台店の黒木店長からも有益な情報を送っていただきました。

爆白が残る原因は、

①洗浄不足②爆白の使用方法③洗浄方法が考えられます。③は洗浄時、いきなり近距離で高圧をかけることにより、ボンネットの隙間に入った爆白が奥に飛び散っているようです。その他の場所は、ゴムがあるため同様なことは起こらず、エンジン部分だけでしょう。

当店では爆白後、

〈ウイングの場合〉

高圧をいきなりかけずに、ウイングで洗車→すすぎで少し丁寧に高圧

〈Jr.の場合〉

高圧を離して、もしくは中圧でゆっくりすすいでから洗車 をしています。



また、固まって取りづらい場合の施工方法として、

- ①キーパークロスに水分を含ませて取り除く
  - ②クロスなどが入らない場合、蓄圧式スプレーでほんの少量の水をかけ、爆白を流す
- といった方法があります。



## ツヤっと輝く! コーティングウーマン

Vol.11

キーパープロショップやキーパー施工店でお客様の愛車を輝かせ、自分にも磨きをかける女性スタッフの頑張りをご紹介します。

JA鹿児島いずみ 出水セルフSS 上田のり子さん

このお店に勤めて、はじめのうちは鹿児島の方が分からなくて言葉が通じず、会話のキャッチボールができてなくて苦労しました。今では2カ国語を操れるようになりました(笑)。

このSSの所長になり約6年が経ちます。

コーティング技術2級を取得したのは2008年。4人のスタッフが2級を取得しています。定期的にお互いの施工をチェックし、訓練をしています。週末や雨の日の後、お盆、年末がやはり集中しますね。

体力がけっこう要りますが、とにかくキレイになるので気になりません。高校生のとき、姉の車があまりに汚くて、洗車してキレイになったのが気持ち良くて、そこから車に関わる仕事がしてみたいと思っただけです。現在はピュアキーパーのお客様が多いですね。クリスタルキーパーのお客様も徐々に増えてきています。実際

の施工車を店頭において、お客様に目でツヤと輝きを見てもらい、営業促進をしています。軽自動車に乗られている女性のお客様も多いですよ。

やっぱり車をキレイにしたいという意識が強いんでしょうね。中には軽トラックにコーティングされる方もいます。乗用車より汚れやすいので、洗車が楽になるんだと思います。

キーパーコーティングは、とにかくツヤと輝きが違います。濃い色の車を施工したときには、深みが出てよりその良さが分かります。お客様が想像以上に喜んでいただけて、とてもうれしいです!

男性のスタッフが施工をしても、女性スタッフが「他に気になるところはありますか?」とお客様に聞くようにしています。お客様とはいえ、細かいところってなかなか言いにくいですよね?そういうとき、女性スタッフが声

をかけるとお客様も気楽に話していただけて、+アルファの受注、施工につながります。

今後はできればプロショップになって、キーパーの良さをもっと知ってもらいたい。そして笑顔を絶やさずに、女性らしいきめこまやかな接客を心がけてたいです。

